

房舎施

布施というのは「布」分け隔てなく「施」ほどこすという意味です。つまり、見返りを期待しない（損得勘定のない）行いです。

私たちの日常には、地位や財産がなくても心掛け一つで誰もが簡単に周囲に幸せを与えることができ、自分も幸せになれる方法「無財の七施」があります。

1. 眼施（がんせ） 常に温かく優しい眼差しを施すこと
2. 和顔施（わがんせ） いつもニコニコ笑顔で接すること
3. 言辞施（ごんじせ） 優しく時には厳しく叱る愛情のこもった言葉
4. 身施（しんせ） 自分の身体を使い奉仕すること
5. 心施（しんせ） 心配り・気配り、思いやりの心を持ち、相手の立場になってみること
6. 床座施（しょうざせ） 座席や場所、地位を譲ること
7. 房舎施（ぼうしゃせ） 家や部屋を提供すること

・客人を神としてもてなせ（インドの古来より伝わる言葉）

人の役に立つ喜びは、どんな細やかな行為でも、幸せとなるのです。

令和六年三月二十六日（火）加茂法話会

永谷寺住職 吉原東玄 合掌